

卒業者の進路状況

— 高等学校教育課 —

平成七年度公立高等学校全日制課程の卒業者の進路状況は次のとおりである。(平成八年五月一日実施の学校基本調査による。なお、平成七年度以前の数値も、その年度に対応する同調査によるものである。)

一 概 況

卒業者の総数は、男子一万一千八百十五人、女子一万九百九十二人、計二万二千八百七人である。

大学など(大学、短期大学、大学・短期大学の通信教育部・別科及び高等学校専攻科をいう)への進学率(就職進学者・就職入学者を含む)は四十九年以降減少してきたが、五十八年度の二・九%を最低に以後増加傾向がみられる。七年度は、二八・三%と前年度に比し〇・八ポイント増加した。男女別では、前年度に比し男子は二・五ポイント増加し、女子は一・〇ポイント減少した。(図1-①参照)

就職者の割合(就職進学者・就職入学者を除く)は、五十年以降年々増加していたが、元年度から減少し、七年度は前年度に比し〇・九ポイント減少した。(図1-②参照)

就職者の県内留保率(県内への就職率)は年々増加し、七年度は八〇・

図1 大学など進学率と就職率の推移

